

子どもの主体性と当事者性を「みんな」で育む

～学校・保護者・地域が一体となって～

校長 福井 将人

令和8年度も引き続き北山田小学校の校長を務めます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、北山田小学校では、今年度も引き続き「自律・協働・創造」の学校教育目標達成に向かって、子どもたちの「主体性」と「当事者性」を育てていきます。そのために、まず大前提として、

「子どもを信頼する」



という考え方を徹底しようと、教職員間では今年度も確認しました。子どもをどのように信頼するかというと、

- ①善くありたいと願う存在として信頼する
- ②自ら学ぶ力を持つ存在として信頼する



ということです。

①は、子どもが何か問題だと思われる行動をしたとしても、「何かそうせざるを得ない事情があったのではないか」とか、「ほんのちょっとした不注意からしてしまったとしても本当はいい子なんだ」と信じるということです。大人がその姿勢を徹底できれば、子どもはやがて自分の中の善きものを自覚し、自ら立ち直り、より善く生きることにつながっています。

②は、子どもには本来、内から湧き出す「知りたい」「やってみたい」「できるようになりたい」という意欲があり、それによって、自分で考え、判断し、行動することで学んでいく存在だと信じるということです。「子どもは教えなければ学ばない」という考えを大人が持っている、「あれしなさい、これしなさい」「あれするな、これするな」という指示・命令・号令ばかりになり、いつの間にか本来持っている主体性や好奇心、学ぶ意欲がなくなっていくます。

だから、我々大人は、子どもの本来の力を引き出し、主体性と当事者性を育むために…

笑顔・上機嫌で 決めつけない レッテルを手放す 思い込みや「ふつう」を疑う
「指示・命令・号令」から「問いかけ」中心へ 自己選択・自己決定を促す

ということを意識しながら、子どもの成長に伴走していきたいものです。

保護者、地域の皆様、可能性の塊である一人ひとりの子どもの成長を我々とともに支えてください。そして、今年度もサポーター活動を継続しますので、登録いただけるとありがたいです。

子どもたちの育ちを「みんな」で支えましょう！よろしくお願いいたします！

今年度は特に地域と共にある学校づくりに重点を置き、「みんな」で子どもたちの主体性と当事者性を育みたいと思っています！よろしくお願いいたします！

校長 福井将人

